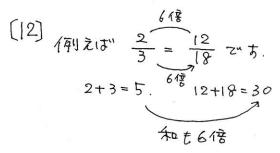
問題

- [12] 分母と分子の和が2001で、約分すると $\frac{14}{55}$ となる分数は、 です。 (奈良学園中学)
- [13] ある分数に $\frac{13}{14}$  をかけても、 $\frac{26}{35}$  をかけても、どちらも整数になります。 このような分数のなかで、もっとも小さいものを求めなさい。 (開明中学)
- [14]  $1 \times 2 \times 3 \times \cdots \times 30$  (1 から 3 0 までの自然数をすべてかけた式)を  $1 \times 0$  で 割り、その商をまた  $1 \times 0$  で割ります。その計算を続けた時、何回目に初めて余りが出ますか。 (駿台学園中学)
- [15] 小数第3位を四捨五入して、6.80になる数のうち、いちばん小さい数は です。(関西大学第一中学)



花める分散を合とします。

 $\Delta + \Box = 2001$ , 14 + 55 = 69

2001 ÷ 69 = 29 s1) 分母も分子も 29倍です。 14 29 = 406 ×29 = 1595

したがって むめる分散は 406

406

8回月

[14] 10で何回割り切れるかは立りか何個あるか、ということです。

○かりつできるには2×5のセルトかり 必要です。

しかろ30まごの数の中で20倍数は ちの倍数より日月うかに多いので.**50個核** を調かます。

5の1音数個数… 30〒5=6 (個) 5×5=25の倍数の個数… 30〒25=1 (個) より 6+1=7 (1回)

シング フィ田 できる。

**J** 

かロかり個でする

7回割り切れ、分回目に初めて余りが出ます。

[13] 求める分数を合とすると合か最小になるのは、

 $\frac{\triangle}{\Box} \times \frac{13}{14}$ 

△ × 26 □ × 35

まず Δ は 14と35の公倍数で最小の数ですから 14と35の最小公倍数です。

 $7 | 14.35 \over 2.5 | 7 \times 2 \times 5 = 70 - 93.$ 

口は科分士れてしにならなければなりませんから、13と26の公約数です。 分母は最大になるとぎですから、 13と26の最大公約数となります。

 $13 \underbrace{13.26}_{12} \rightarrow 9 \oplus 13$  したがって求める分数は $\frac{70}{13}$ 

70

(15) -0.005 -0.005 6.80 -0.005 6.795 以上 -0.005 6.80 +0.005 6.80 +0.005 6.80 -0.005

いちばんかさい数は 6.795 ぬす。

6,795